

公益財団法人日本精神衛生会 令和4年度事業計画

1. メンタルヘルスの集い(第37回日本精神保健会議)の開催

今日の社会が抱えるこころの健康に関するさまざまな問題をテーマに、現状や課題、問題点を探り出し、その対策や社会的施策の必要性などを一般市民とともに考えるフォーラムを開催する。

日 時：2023年3月4日(土) 予定

会 場：有楽町朝日ホール(予定)

テーマ：未定(今後の理事会で決定)

参加費：無料

2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の大学・精神保健福祉団体などと共催し、地域が直面する精神保健に関する課題をテーマにシンポジウムを実施する。今年度は1回の開催とする。

第78回精神保健シンポジウム

共 催：沖縄県精神保健福祉連合会ほか

日 時：2022年7月18日(月・祭)を予定

会 場：那覇文化芸術劇場なは一と・小劇場

参加費：無料

テーマ：沖縄における精神障害福祉の歴史と今後の歩み

内 容：映画「夜明け前のうた～消された沖縄の障害者」の上映とシンポジウム。

私宅監置という社会制度にもとづく精神障害者の隔離について、国の責任、被害者や家族が受けてきた傷、痛みについて公的検証や公的謝罪、賠償などを考える。

3. 広報誌「心と社会」の発行

「メンタルヘルスの集い」「精神保健シンポジウム」の内容を収録するとともに、今日の精神医療・保健・福祉が直面する重要課題を取り上げ、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を掲載し次のように年4回発行する。

・188号 2022年6月中旬発行予定

・189号 2022年9月中旬発行予定

・190号 2022年12月中旬発行予定

・191号 2023年3月中旬発行予定

(各号A5判130ページ程度 発行部数1500部)

4. 精神保健福祉関係冊子の出版

昨年度で「こころの健康シリーズⅧ 国際化の進展とメンタルヘルス」の刊行が終了したため、今年度よりこころの健康シリーズⅨとして新たに「災害とメンタルヘルス」をテーマに年に4回、3年間で12回発行する。林直樹理事が編集委員長となり、編集委員には高塚雄介理事のほか、外部から小泉典章（長野大学客員教授）、堀有伸（ほりメンタルクリニック院長）、宮地尚子（一橋大学大学院教授）の3氏に委嘱した。

初年度はNo. 1～ No. 4を以下のように刊行する。

- ・No. 1 2022年6月中旬発行予定
 - ・No. 2 2022年9月中旬発行予定
 - ・No. 3 2022年12月中旬発行予定
 - ・No. 4 2023年3月中旬発行予定
- （各B5判8ページ 発行部数2000部）

5. 精神保健福祉団体との提携・協力

日本精神保健福祉連盟、都道府県精神保健協会など関連諸団体の活動に協力し、併せて情報交換を実施する。